

第3章 労働災害

休業4日以上の死傷者は1,159人で前年より増加
死亡者は5人で前年と同数

令和5（2023）年1月～12月の川崎管内の労働災害被災者数（休業4日以上の死傷者）は、総計1,159人で前年に比べて107人増加した。

労働者災害補償保険給付等の状況は、給付等総数36,444件で前年に比べて5,319件減少した。

1 令和5（2023）年の労働災害の状況

(1) 産業別・規模別の特徴

- ① 休業4日以上の死傷者は前年より107人増の1,159人、死亡者は同数の5人となっている。（2-3-1表）
- ② 企業規模別の死傷者数は、30～299人規模の事業所で535人（うち死亡者数0人）と最も多く、前年と比較すると28人増（死亡者数は1人減）となった。次いで、30人未満規模で507人（うち死亡者数5人）、300人以上規模で117人（うち死亡者数0人）となっている。（2-3-1表）
- ③ 産業別の死傷者数は、保健衛生業で218人（うち死亡者数0人）、商業で190人（うち死亡者数0人）、運輸交通業で171人（うち死亡者数0人）、建設業で124人（うち死亡者数4人）、製造業で138人（うち死亡者数0人）となっている。（2-3-1,3表）

(2) 労働者災害補償保険の給付等状況

給付等総数は36,444件、支給額は約28億4,462万円で、前年度と比べると5,319件減少、4億2,890万円減少している。（2-3-2表）

(3) 事故の型別労働災害発生状況

- ① 事故の型別にみると「転倒」（280件）、「墜落・転落」（212件）、「無理な動作の反動」（211件）などが多くなっている。（2-3-3表）
- ② 産業別にみると、保健衛生業では「無理な動作の反動（77件）」、商業では「転倒」（52件）、運輸交通業では「墜落・転落」（51件）、建設業では「墜落・転落」（42件）、製造業では「転倒」（33件）などが多くなっている。（2-3-3表）
- ③ 市内の労働基準監督署に報告のあった死亡事故の発生状況の詳細については、2-3-4表に記載したとおりである。

2-3-1表 産業別・規模別労働災害発生状況(令和5(2023)年 1月～12月)

(単位:人)

産業別 規模別	事業所規模別被災者 () は死亡者数				R4(2022)年 産業別合計内訳
	30人未満の 事業所	30～299人の 事業所	300人以上の 事業所	R5(2023)年 産業別合計内訳	
建設業	101 (4)	21	2	124 (4)	123 (2)
製造業	40	60	38	138 (0)	122 (1)
運輸交通業	45	124	2	171 (0)	181 (0)
その他の事業	321 (1)	330	75	726 (1)	626 (2)
規模別内訳合計					参考) 全国計
R5(2023)年	507 (5)	535 (0)	117 (0)	1,159 (5)	135,371 (755)
R4(2022)年	443 (3)	507 (1)	102 (1)	1,052 (5)	132,355 (774)

注1:休業4日以上之死傷者数であり、()内は死亡者数である

注2:死傷者数は労働者死傷病報告、死亡者数は死亡災害報告による

注3:新型コロナウイルス感染症による労働災害は除外

資料出所:神奈川労働局(川崎南・川崎北労働基準監督署 計) 厚生労働省(全国計)

2-3-2表 労働者災害補償保険給付等状況(令和5(2023)年度)

(単位:件、千円)

項目		川崎南労基署	川崎北労基署	R5(2023)年度 合計	R4(2022)年度 合計
総数	件数	19,470	16,974	36,444	41,763
	金額	1,794,371	1,050,250	2,844,621	3,273,518
療養補償給付	件数	16,598	14,920	31,518	35,950
	金額	1,061,137	681,740	1,742,877	2,007,187
休業補償給付	件数	2,531	1,890	4,421	5,279
	金額	452,747	326,359	779,106	891,048
障害補償給付 (一時金)	件数	77	49	126	122
	金額	180,733	0	180,733	251,000
遺族補償給付 (一時金)	件数	8	3	11	5
	金額	54,410	19,612	74,022	44,257
葬祭料	件数	30	13	43	28
	金額	13,393	9,105	22,498	21,824
介護補償給付	件数	226	99	325	379
	金額	31,951	13,434	45,385	58,202

資料出所:神奈川労働局

2-3-3表 川崎市内の業種別・規模別・事故の型別災害発生状況（休業4日以上之死傷）

業種別	規模・型別	合計	事業所の規模別（ ）内は死亡者数					事故の型別			
			9人以下	10～49人	50～99人	100～299人	300人以上	墜落・転落	転倒	激突	飛来・落下
建設業	土木工事	31 (1)	18	13 (1)				7	1	1	4
	建築工事	71 (1)	38	25 (1)	5	2	1	27	11	2	7
	その他の建設	22 (2)	8 (2)	7	3	3	1	8	2		2
	計	124 (4)	64 (2)	45 (2)	8 ()	5 ()	2 ()	42	14	3	13
製造業	食料品製造	49 ()		12	3	12	22	5	10	2	
	繊維工業	0 ()									
	衣服その他の繊維	0 ()									
	木材・木製品	3 ()		1		2		1	1		
	家具・装備品	0 ()									
	パルプ等	0 ()									
	印刷・製本	2 ()	1	1							
	化学工業	12 ()		2	1	7	2	1	6		1
	窯業土石	5 ()	1	4					1		1
	鉄鋼業	10 ()		1	1	1	7		1		1
	非鉄金属	1 ()		1							
	金属製品	17 ()	2	11		3	1	2	2	1	
	一般機械器具	8 ()	2	2		4		3	2		
	電気機械器具	7 ()	1	3	1		2	2	3		
	輸送機械製造	10 ()	1			5	4	1	4	1	
	電気・ガス	1 ()		1				1			
上記以外の製造業	13 ()	2	7	2	2		1	3	1	2	
計	138 ()	10 ()	46 ()	8 ()	36 ()	38 ()	17	33	5	5	
鉱業	0 ()										
運輸交通業	鉄道等	6 ()	1		3	1	1	1	3		
	道路旅客	40 ()	1	4	4	31		7	9		
	道路貨物運送	125 ()	11	54	42	17	1	43	18	11	8
	その他の運輸交通	0 ()									
計	171 ()	13 ()	58 ()	49 ()	49 ()	2 ()	51	30	11	8	
貨物取扱	陸上貨物	58 ()	1	14	11	10	22	8	15	4	1
	港湾運送業	6 ()		4	2			2		1	
計	64 ()	1 ()	18 ()	13 ()	10 ()	22 ()	10	15	5	1	
農林業	7 ()	6	1				1	1	1	1	
畜産・水産業	10 ()	6	4				5				
商業	190 ()	28	93	20	44	5	25	52	6	12	
金融広告業	9 ()		2	5	2		2	4			
映画・演劇業	0 ()										
通信業	21 ()			1	11	9	3	4	2		
教育研究	22 ()	3	9	4	2	4	4	8			
保健衛生業	218 ()	18	119	36	20	25	14	63	13	1	
接客娯楽	70 ()	10	50	7	3		6	14	4	4	
清掃・と畜	65 ()	7	26	9	15	8	20	22	5		
官公署	0 ()										
その他の事業	50 (1)	7 (1)	25	7	10	1	12	20	2	1	
令和5(2023)年 総計	1,159 (5)	173 (3)	496 (2)	167 ()	207 ()	116 ()	212	280	57	46	

注：労働者死傷病報告より

資料出所：神奈川労働局

令和5(2023)年(1月~12月)

事故の型別																					
崩壊・倒壊	激突され	はさまれ	巻き込まれ	切れ・こすれ	踏み抜き	溺れ	との接触	高温・低温	との接触	有害物等	感電	爆発	破裂	火災	(道路)	交通事故	(その他)	交通事故	無理な動作の反動	その他	分類不能
	1		8	2				2										4	1		
2	2		4	5				1			1					2		6	1		
1	1		4					3								1					
3	4		16	7	0	0		6	0	1	0	0	0		3	0		10	2		0
	1		14	6				1	1									7	2		
			1																		
			2																		
			2					1	2		1										
	1		1					1										2			
			1																		
1			7	1				2											1		
			1																1	1	
				1															1		
1	1		1					2											3		
	1		2													1			2		
2	4		32	8	0	0		7	3	0	1	0	0		1	0		17	3		0
	1																		1		
	1															9			12	2	
4	2		13					1	2							3			19	1	
4	4		13	0	0	0		1	2	0	0	0	0		12	0		32	3		0
2	5		7	1				4								1			10		
	1		2																		
2	6		9	1	0	0		4	0	0	0	0	0		1	0		10	0		0
				2				1													
	2		1																1	1	
3	10		11	12				3	1							16			36	2	1
			1													1			1		
1	2							1								6			2		
	2															1			7		
6	2		3					1								11			77	27	
	2		1	12				11	1	1						6			8		
1	1		5	3												3			5		
	1		3	1				1								1			5	2	
16	44		94	49	0	0		36	7	2	1	0	0		62	0		211	40		1

注：労働者死傷病報告より
資料出所：神奈川県労働局

2-3-4表 川崎市内の事業所における労働災害(死亡事故)

発生時期	発 生 概 要 < 令和5年(2023)年1月~12月 >
2月	工場内の配管工事現場で、交換用ボルト・ナット約30キログラムを繊維製道具袋に詰め、ホイストでつり上げ中、約15メートルの高さで袋の持ち手紐が破断して袋が落下し、下の地面で次のつり荷を準備していた被災者の頭に当たった。
3月	ビル新築工事現場で、型枠材搬入を終えたトラックの運転者が降車中に、警備員がタイヤの歯止めを外したため同車が下り坂を無人で動き出し市道に出た。運転者は警備員2名とともに車の前で押し止め中に転倒し、前輪にひかれた。
6月	街路樹のせん定現場で刈り込み準備中、刈った枝を収集予定のパッカー車を道路上で誘導していた警備員が、後進中の同車にひかれた。
8月	河川の護岸工事における締切工内での河床掘削場所が、水位の急上昇による越水で水没し、作業員ら4名が急流につかりながら退避中に1名が流され、5キロメートル下流で発見された。発生時刻と同じ頃に大雨警報が発表されていた。
8月	公営ごみ処理施設の改良工事現場で、焼却設備へ揚重引込みにより資材搬入中、3階でつり荷を引き込もうとしていた被災者の足元のグレーチング(格子形の常設床材で約1×0.6メートル)がずれ落ち、一緒に約13メートル下の1階へ墜落した。

資料出所:神奈川労働局